

令和3年3月5日現在の情報に基づき掲載しております。
内容は随時更新いたします。

通番	区分	質問事項	回答
1	ワクチン	ワクチン接種した場合の効果は。	新たに承認された新型コロナワクチンは2回の接種によって、95%が有効で、発熱や咳などの症状が出ること（発症）を防ぐことが認められています。
2	ワクチン	ワクチンは、必ず接種しなければダメですか。	昨年12月に施行された改正予防接種法では、接種は国民の「努力義務」とされました。したがって、接種しなくても罰則はありません。なお、接種する場合は無料で受けられます。
3	ワクチン	変異株の新型コロナウイルスにも効果はあるか。	一般論として、ウイルスは絶えず変異を起こしていくもので、小さな変異でワクチンの効果がなくなるというわけではありません。また、ファイザー社のワクチンでは、変異株の新型コロナウイルスにも作用する抗体が作られた、といった実験結果も発表されています。
4	ワクチン	ワクチンを打てば感染しないということですか。	ワクチンを接種しても感染を100%防いでくれるわけではありません。引き続き、感染流行が続いている間はマスクや手洗い、ソーシャルディスタンスを継続してください。
5	ワクチン	血圧の薬を飲んでいるけどワクチンを打っても大丈夫ですか。	薬を飲んでいるために、ワクチンが受けられないということはありませんが、基礎疾患のある方、免疫不全のある方、病状の重い方など、接種を慎重に検討した方がよい場合もありますので、かかりつけ医と相談してください。ただし、抗凝固薬（いわゆる「血をさらさらにする薬」の一部です）を飲んでいる方は、ワクチンを受けた後、2分以上しっかり押さえてください。いずれにしても、ご心配がある方はかかりつけ医などにご相談ください。

6	ワクチン	アレルギーがあると打てませんか。	<p>米国の疾病予防管理局（CDC）は、他のワクチンや食べ物に対して、重いアレルギーのある方も、新型コロナワクチンの接種は可能としております。一方、過去に新型コロナワクチンに対して、アナフィラキシーなど重いアレルギー反応を起こした方や、同ワクチンに含まれるポリエチレングリコール（PEG）やポリソルベート（※）に対して重いアレルギー反応を起こしたことがある方への接種は推奨していません。</p> <p>※ポリエチレングリコールは、一般に、大腸検査の下痢や薬剤などを溶かす際に用いられます。また、ポリソルベートは、乳化剤として、様々な食品に用いられています。</p> <p>米国では、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重いアレルギー反応を起こしたことがある方や、ワクチンや注射で何らかの即時型アレルギー反応を起こしたことがある方は、ワクチン接種後少なくとも30分間、それ以外の方は15分間アナフィラキシーなどの有無を観察することを奨励しています。
7	ワクチン	基礎疾患の証明はいりますか。	<p>証明するための診断書等は必要ありません。予診票に記載していただき、必要があるときは、問診で病気や治療の状況などを医師が確認します。</p>
8	ワクチン	ワクチンを打ってから気分が悪くなったり発熱したらどうしたらいいですか。	<p>ワクチンによる発熱は接種後1～2日以内に起こることが多く、必要な場合は解熱鎮痛剤を服用いただくなどして、様子を見ていただくこととなります。</p> <p>このほか、ワクチン接種後に比較的起きやすい症状としては、下記の頭痛、疲労、筋肉痛、悪寒（さむけ）、関節痛などがあります。</p> <p>ワクチンによる発熱か、新型コロナウイルス感染症かを見分けるには、発熱以外に、咳や咽頭痛、味覚・嗅覚の消失、息切れ等の症状がないかどうか、手掛かりとなります。（ワクチンによる発熱では、通常、これらの症状はみられません）</p> <p>ワクチンを受けた後、2日以上熱が続く場合や、症状が重い場合、ワクチンでは起こりにくい上記の症状が見られる場合には、医療機関等への受診や相談をご検討ください。</p>

9	ワクチン	<p>ワクチンを打ってからの発熱や痛みに対して、市販の解熱鎮痛薬を飲んでいいですか。</p> <p>【NEW】</p>	<p>ワクチンによる発熱や痛みに対し、市販の解熱鎮痛薬で対応いただくことも考えられますが、特に下記のような場合は、主治医や薬剤師にご相談ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の薬を内服している場合や、病気治療中の場合 ・激しい痛みや高熱など、症状が重い場合や長く続いている場合 ・ワクチン接種後としては典型的でない症状が見られる場合。症状については通番8の回答をご覧ください <p>なお、ワクチン接種後、症状が出る前に、解熱鎮痛薬を予防的に繰り返し内服することについては、現在のところ推奨されていません。</p>
10	ワクチン	<p>ワクチンの副反応が怖い。症状が出るとしたらどのようなようになるのですか。</p>	<p>一般的にワクチン接種後には、免疫を得るために接種部位の痛み、発熱、頭痛などの「副反応」が生じる可能性があります。国内の治験では接種部位の痛みは約80%、37.5℃以上の発熱は33%、疲労、倦怠感が約60%の方に認められています。</p>
11	ワクチン	<p>アナフィラキシーとはどのような症状ですか。またどのような治療法があるのですか。</p>	<p>アナフィラキシーというのは、薬や食物が身体に入ってから、短時間で起きることのあるアレルギー反応です。</p> <p>じんま疹などの皮膚症状、腹痛や嘔吐などの消化器症状、息苦しさなどの呼吸器症状が急に起こります。血圧の低下に伴い意識レベルの低下（呼びかけに反応しない）や脱力を来すような場合をアナフィラキシーショックといいます。</p> <p>予防接種後に、息苦しさなどの呼吸器症状が見られれば、接種会場や医療機関で、まず、アドレナリン（エピネフリン）という薬の注射を行います。そのあと、症状を軽くするために、気管支拡張薬等の吸入や抗ヒスタミン薬、ステロイド薬の点滴や内服なども行います。</p> <p>接種後にもアナフィラキシーが起こっても、すぐに対応が可能なように、予防接種の接種会場や医療機関では、医薬品などの準備をしています。</p> <p>＜アナフィラキシー発生頻度＞</p> <p>米国の疾病予防管理局（CDC）まとめによると、ファイザーワクチンは、100万回あたり5回。</p>

12	ワクチン	妊娠中や授乳中の方は、ワクチンを受けることができますか。	<p>妊娠中、授乳中の方も、新型コロナワクチンを受けることができます。ただし、妊婦又は妊娠している可能性のある女性には、海外の実使用経験などから現時点で特段の懸念が認められているわけではありませんが、安全性に関するデータが限られていることから、接種のメリットとデメリットをよく検討して接種を判断していただくこととしております。</p> <p>なお、日本産婦人科感染症学会・産婦人科学会からは、「感染リスクが高い医療従事者、重症化リスクがある可能性がある肥満や糖尿病など基礎疾患を合併している方は、ワクチン接種を考慮する」と提言しております。</p> <p>また、授乳中の女性については、現時点で特段の懸念が認められているわけではなく、海外でも接種対象とされています。</p> <p>ワクチンを受けるかどうかご心配の方は、主治医にご相談ください。</p>
13	ワクチン	持病がありますが、誰でもワクチンは打てますか。	<p>一般に、以下の方は、ワクチンを受けるにあたって、注意が必要です。ご自身が当てはまると思われる方は、ワクチンを受けてもよいか、かかりつけ医にご相談ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過去に免疫不全の診断を受けた方、近親者に先天性免疫不全症の方がいる方 ・心臓、腎臓、肝臓、血液疾患や発育障害などの基礎疾患のある方 ・過去に予防接種を受けて、接種後2日以内に発熱や全身性の発疹などのアレルギーが疑われる症状が出た方 ・過去にけいれんを起こしたことがある方 ・ワクチンの成分に対して、アレルギーが起こるおそれがある方 <p>また、新型コロナワクチンは筋肉内に注射することから、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・抗凝固療法を受けている方、血小板減少症または凝固障害のある方は、接種後の出血に注意が必要とされております。

14	ワクチン	ワクチンを打ってはいけない場合はどんな時ですか。	<p>一般に、以下の方は、ワクチンを受けることができません。ご自身が当てはまると思われる方は、ワクチンを受けても良いか、かかりつけ医にご相談ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明らかに発熱している方（※1） ・重い急性疾患にかかっている方 ・ワクチンの成分に対し、アナフィラキシーなど重度の過敏症（※2）の既往歴のある方 ・上記以外で、予防接種を受けることが不適当な状態にある方 <p>※1 明らかな発熱とは通常37.5℃以上を指します。ただし、37.5℃を下回る場合も平時の体温を鑑みて発熱と判断される場合はこの限りではありません。</p> <p>※2 アナフィラキシーや、全身性の皮膚・粘膜症状、喘鳴、呼吸困難、頻脈、血圧低下等、アナフィラキシーを疑わせる複数の症状</p>
15	ワクチン	高齢者優先の時期に様子を見たくて、控えてました。後からでも接種券は使えますか。	接種券は、当該事業が終了するまでは使用可能であります。
16	ワクチン	子どももワクチンを打つことができますか。	<p>現在薬事承認されている、ファイザー社の新型コロナワクチンについては、16歳以上が薬事承認の対象となっております。</p> <p>また、予防接種法に基づく公費での接種の対象は16歳以上の方です。このため、16歳に満たない方は、ワクチンの接種の対象にはなりません。</p> <p>アストラゼネカ社、モデルナ社の新型コロナワクチンでは、18歳以上に対して臨床試験が行われており、今後、提出された臨床試験のデータに基づき、接種の年齢が決められます。また、ファイザー社、モデルナ社の新型コロナワクチンでは12歳以上の小児を対象とした臨床試験が開始されております。</p> <p>接種対象者は、現時点では科学的知見に基づいて決められています。将来的には、接種の対象年齢が広がる可能性もあります。</p>
17	手続き	接種券について教えてください。	接種券は対象の方には送付させていただきます。時期は国の決定次第送付させていただきます。現在発送時期は未定です。
18	手続き	ワクチンを接種したという証明書などは発行されますか。	接種済証明書はワクチン接種後にお渡しさせていただきます。また、接種履歴は情報として記録されておりますので、ご心配の場合には市役所へお尋ねください。

19	手続き	予約制ですか。	コールセンターまたはWEBでの事前予約となります。
20	手続き	ワクチン接種の時は何か必要な物はありますか。	市役所からお送りする接種券、予診票、体調チェック表と運転免許証等の本人確認できるものを持参してください。 運転免許証などは、接種券提出時の本人確認のために使用します。
21	手続き	大学が長期休暇のため帰省中ですが、弥富市で接種できますか(住民票は他市)。	住民票所在地の市町村に所在する医療機関等で接種を受けることを原則としますが、出産のために里帰りしている妊産婦、遠隔地へ下宿している学生、単身赴任者などは例外的に弥富市で接種することができます。 したがって、質問のケースについても弥富市役所へ申請していただくことで接種が可能となります。
22	手続き	弥富市民が他県で接種する場合の手続方法は。	他県の市町村へ申請していただきますと、「住所地外接種届出済証」が発行されます。接種希望の医療機関へお問い合わせください。
23	会場	基礎疾患があり、かかりつけ医が他県の医療機関です。かかりつけ医で打てますか。	通番22の手続きは不要ですので、直接かかりつけ医へお問い合わせください。
24	会場	弥富市以外の病院などではワクチンは打てないですか。	原則として、住民票所在地の市町村で接種を受けていただきます。ただし、出産のために里帰りしている妊産婦、遠隔地へ下宿している学生、単身赴任者のようにやむを得ない場合には、特別な申請をしていただいで市外で受けることはできます。
25	会場	ワクチン接種会場はどこを予定していますか。	現時点では、弥富市役所3階保健センターを集団接種場所として確定しております。 なお、今後、接種場所が確定次第、市役所ホームページにて掲載します。
26	会場	接種会場に車でなくても駐車場はありますか。	接種は事前予約制となっておりますので、必要な駐車場を確保してまいります。
27	会場	接種するための手続きはどのように行うのですか。	弥富市では接種を希望される場合には、予約システム(※)により事前予約制となります。※予約ができるようになりましたら市役所ホームページへ掲載いたします。(2月24日時点)

28	会場	<p>集団接種を受ける場合、受付から経過観察が終わるまでの所要時間の目安は。</p>	<p>先日、弥富市役所で接種シミュレーションを実施した際、受付から接種終了後までにかかった所要時間で一番多かったのは、18分間でした。 なお、接種後にはワクチンの副反応など経過観察を行いますので、接種後30分間程度は接種会場様子を見させていただきます。</p>
29	会場	<p>接種会場は、無症状者も含めて不特定多数の方が集まりますが、ソーシャルディスタンスは取れるのでしょうか。</p>	<p>接種会場は、接種希望者が密にならないよう人数を制限することでソーシャルディスタンスの確保を行います。</p>